




論文審査結果の要旨

報告番号	甲 創 第 2 号	氏 名	大野 祥子
審査委員	主 査	大高 章	
	副 査	難波 康 祐	
	副 査	佐野 茂 樹	

学位論文題目

パラジウム触媒を用いたプロパルギル化合物と求核剤の連続的環化反応による高度置換複素環化合物の合成

審査結果の要旨

プロパルギル化合物はパラジウム触媒存在下、多様な反応性を示すことが知られている。今回大野氏は本反応性を活用した新たな研究展開として、連続的環化反応により高度に置換された複素環化合物を一挙に構築する新しい方法論の開発を行った。その結果、プロパルギル β -ケトエステルに対しパラジウム触媒を作用させたところ、連続的な反応が進行し置換フランが得られることを見出した。また炭酸プロパルギルエステルと2-ビニルフェノールの連続的求核置換-[2+2]環化付加反応により四員環を含む三環性ベンゾフランが生成することを明らかにした。更にパラジウムおよびホウ酸触媒存在下にてプロパルギルアルコールと β -ジカルボニル化合物の連続的環化反応が進行し置換テトラヒドロベンゾフランが得られることを見いだした。

以上の知見は新規な内容を含んでおり、かつ薬学的にも重要なものである。以上の観点より本論文は博士論文として適当であると判断する。